人間は
父や母のように
霧のごとくに
消されてしまって
よいのだろうか

若松　小夜子「長崎の証言・5」より

TOMORROW
明日

黒木和雄 監督作品

原作：井上 光晴（集英社文庫）
製作：鍋島 壽夫
脚本：黒木 和雄／井上 正子／竹内銃一郎
撮影：鈴木 達夫　照明：水野 研一
音楽：松村 禎三　美術：内藤 昭
録音：井家眞紀夫　編集：飯塚 勝
製作：ライトヴィジョン
　　沢井プロダクション
製作協力：大武幸夫（昌栄トレーディング）
　　創映新社
配給：ヘラルド・エース／日本ヘラルド映画

桃井 かおり　南 果歩
仙道 敦子　黒田 アーサー
佐野 史郎　岡野 進一郎
長門 裕之　殿山 泰司
草野 大悟　絵沢 萌子
水島 かおり　森永 ひとみ
伊佐山 ひろ子　なべ おさみ
入江 若葉　横山 道代
荒木 道子　賀原 夏子
楠 トシ江　二木 てるみ
馬渕 晴子　原田 芳雄
田中 邦衛

喜び、悲しみ、苦しみのくり返しの中で
小さな倖せを見つけて現実に生きる普通の市民の生活を、
何のことわりもなしにぶちこわしてしまう原爆を
許すことはできない。
原爆で殺されるより原爆反対で殺されるほうを
選びたいと思う心をこの映画によって更に勇気づけられた。

■秋山ちえ子（評論家）

黒木和雄監督は、静かな日常的な人間ドラマを
映画の画面に営々と積み上げ重ねていくことによって、
終局的には映像に、異常な人間抹殺の悲劇というものを、
まさにスクリーンが張り裂けんばかりの迫力で、
描きあげることに成功している。
これは1988年の日本映画のなしとげた、
とても優れた仕事の一つといえるだろう。

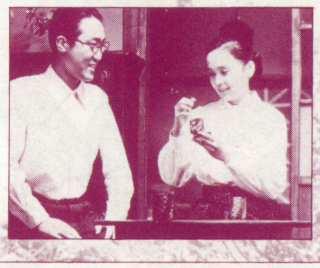
■白井佳夫（映画評論家）

「明日」は悲痛な映画である。敗戦のあの夏、
私たちの日常はたしかにこうであった。
いつこの世が地獄になっても不思議ではないことを
知っていながら、平気で日々を過ごしていた。
そして事実、この世は地獄になった。この「明日」が、
本当に明日のことかもしれないことを、いま、われわれは
知っている。おだやかで、やさしくて、怖ろしい映画である。

■佐藤忠男（映画評論家）

ここには無名の人々が〝生きて〟いる。
端正なまでに慎しやかな、人間の姿がある、暮らしがある。
彼らの〝いのち〟がある。
そのいとしさが、たまらないのである。
抑制をきかせながら、こぼれる郷愁の香りは、
けれどセンチメンタルではなく、透明だ。ラストの処理も見事である。

■南俊子（映画評論家）（キネマ旬報一月下旬号より）



TOMORROW 明日

桃井かおり／南 果歩／黒田アーサー／佐野史郎／岡野進一郎／仙道敦子／長門裕之／原田芳雄／田中邦衛

製作：鍋島壽夫／原作：井上光晴「明日-1945年8月8日・長崎」（集英社文庫）

黒木和雄監督作品 ●上映時間：1時間45分 ●1988年作品/カラー/ビスタサイズ ●製作：ライトヴィジョン/沢井プロダクション/創映新社 ●製作協力：大武幸夫（晃栄トレーディング）

解説

「TOMORROW/明日」は、〝今日〟の続きとしての来たるべき〝明日〟を迎えることができなかった人々の物語である。1945年8月9日、長崎に原子爆弾が投下され、75,000名の人々が爆死、街は一瞬に破壊された。

この映画は、その前日の8月8日から爆弾投下直前までの長崎の庶民群像、死を運命づけられながらそれと知らない人々の日常ドラマを淡々と描いた作品である。原作は井上光晴の「明日-1945年8月8日・長崎」（集英社文庫）である。

戦時下のささやかな結婚式からはじまるこのドラマは、式に列席した人々のそれぞれの出来事を、翌日の朝まで並行的に描いてゆく。恋人たちの別離がある。身ごもった女性の悲しみがある。病気の俘虜を見殺しにした男の怒りがある。ほほえましく誠実な初夜がある。そして、運命の日の早朝、難産の末にこの世に誕生した赤ん坊の無心な笑顔がある……。

ささやかな歓びと秘められた哀しみに生きる無名の人々の群像を、やさしく澄んだ目差しで追いながら、戦時下の日本人の1日を、見事なまでに再現する。

監督は「竜馬暗殺」「祭りの準備」の黒木和雄。撮影は「とべない沈黙」以来黒木監督とは名コンビの鈴木達夫。「ハチ公物語」、「この愛の物語」の鍋島壽夫が製作にあたり、松村禎三が音楽を担当した。

出演陣は桃井かおり、南果歩、仙道敦子、水島かおり等のフレッシュな女優陣、そして馬渕晴子、田中邦衛、なべおさみ、原田芳雄、長門裕之などのベテランがそれぞれ陰影にとんだ好演をきそっている。

声高に反核、反戦をいうことなく、語りつぐべき、歴史の証言を見事に描ききった必見の名作である。

●配給：ヘラルド・エース/日本ヘラルド映画

8月13日(土)より エキプ・ド・シネマ ロードショー

●地下鉄（都営三田線・新宿線）神保町駅・下車1分JR（中央線）水道橋またはお茶の水駅・下車7分 ●神保町交差点

岩波ホール (262) 5252

特別前売鑑賞券絶賛発売中！1200円（当日1500円の処）
●岩波ホールチケット・ガイド（ビル1階）の他都内各プレイガイドにて発売中。
●団体のお申し込み・お問い合わせは㈱メイジャー（541）2508へ。
上映時間（入れ替え制／自由定員制）

月ー土	12：30	3：30	6：30	日・祝	11：30	2：30	5：30